

	①	②	③
課題となっているもの	人口減少（特に生産年齢人口）に伴う地域活力の低下	人口減少、少子高齢化に歯止めをかけ如何に活力ある丹波市を維持していくのか。	人口減少の進行 進行を少しでも食い止める対策
対象とするもの	都市部の若者をターゲットに関係人口（移住・定住も見据えて）を増やす	基幹産業である農業	
事業提案	<p>1 都市部の友好自治体（ex文京区）の小中高生を対象としたホームステイ、自然の家等での中期滞在（夏休み等）、かじかの郷的な空き家を活用したお試し移住（かなり安価で）</p> <p>2 大学のクラブ、サークル等の合宿呼び込み（無償orかなりの優遇措置で）</p> <p>※丹波篠山市では昔からの関係で多くの神戸大学生がサークル等で活動しており、卒業後すぐに又は一定期間後に篠山で就業（農、林、学習塾経営等）している人がいる。子どもや学生のうちに“丹波市”に関わる事が将来の関係人口につながるのでは。</p>	<p>・アイターン就農者へ空家リースと払下げ事業</p> <p>①自治会加入・25年以上の継続居住・就農5年以内に農業経営面積10ha以上又は20ha以上の経営面積の集落営農（農業生産法人の構成員又は従業員を含む）を条件に戸建て家屋を25年継続居住後に払い下げる。</p> <p>②子育て期間の家屋リース料金免除など</p>	<p>民間事業者にとっても丹波市の人口減少は死活問題であり、危機感が強い。このため、民間事業所と協働した取組ができないか。民間事業所で構成する協議会を結成し、民間としてできる対策を考え、行政と一丸となって実行していく。丹波市で子どもを産み育てることを応援し、バックアップする試みや丹波市にIターン、Uターンする動きを促す試みなどに行政や関係機関だけでなく、民間も全力で取り組んでいる姿を発信してはどうか。</p>
対応	基本目標3の施策の手段として参考とする。	プロジェクトチームで行う地方創生推進プロジェクトの参考とする。	プロジェクトチームで行う地方創生推進プロジェクトの参考とする。

	④	⑤	
課題となっているもの	委員の高齢化。女性が少ない。	KPI以外の指標が欲しい 施策効果があったという実感が欲しい	
対象とするもの	20代～30代の女性	ターゲットの行動を点ではなく線や面を意識した情報収集を実施する	
事業提案	属性の異なる5人 ヒアリングをする。 生の声を聞いてほしい、聞きたい。 丹波の何が良くて、丹波に暮らしているのか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ターゲットの目線に立ち、ターゲットについて知るため (why) ・ライフスタイルに関する情報と意思決定に対して、認知から行動に至る心理段階 (ストーリー) の情報を収集する (what) ・ターゲットを定期的に集め、ミーティングを行い、生の情報収集を行う。例えば、会話の中に期待するキーワードが出てくるかどうかなどを観察したり、施策の体験から感じることをフィードバックしてもらう (how) ・まずは、市内在住の20代～30代女性に対して実施。転出した20代～30代の女性に対しても計画していく (whom) ・1年間月1回程度は実施 (when) ・市民プラザで実施 (where) ・予算的には参加者への謝礼、ファシリテーターへの謝礼、会議費 (how much) 	
対応	プロジェクトチームで行う地方創生推進プロジェクトの参考とする。	プロジェクトチームで行う地方創生推進プロジェクトの参考とする。	